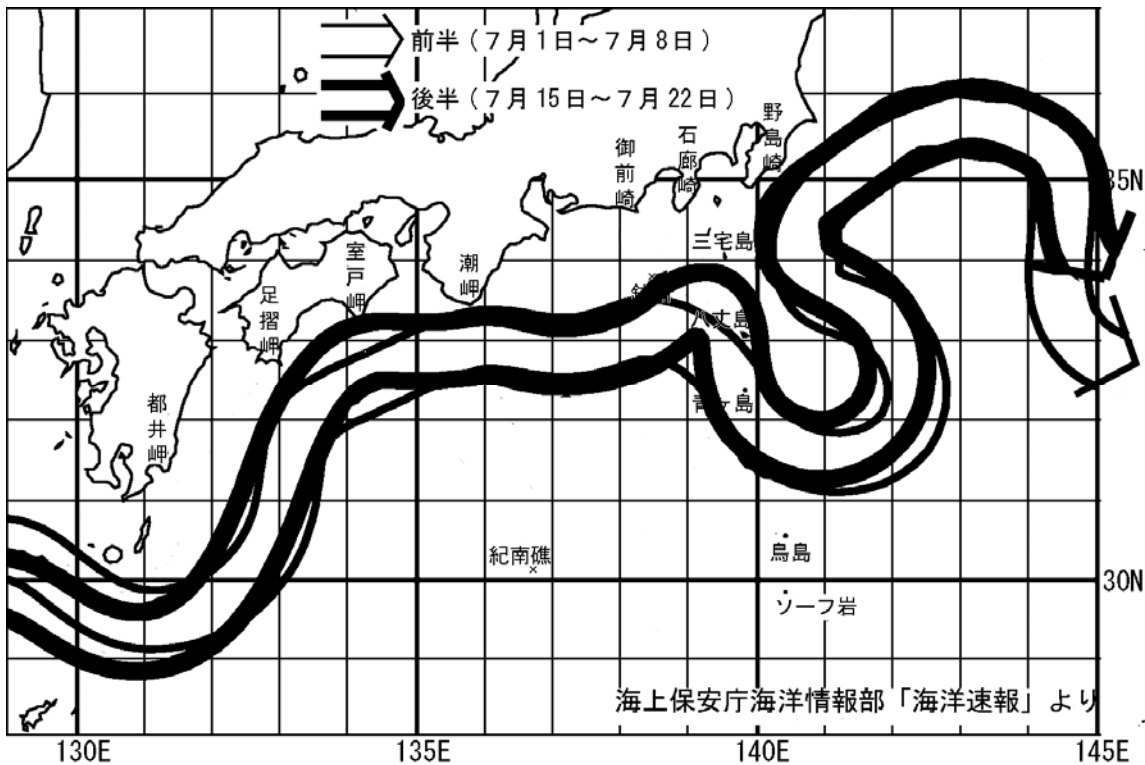


漁海況月報

平成20年7月1日

No. 7 ~7月31日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産技術研究所伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



【黒潮流路】

月前半の黒潮は、九州東岸から室戸岬にかけて離岸した後、潮岬に接岸し、33° N 付近を東進した。その後、石廊崎沖から南東に流去し、八丈島の南東で小規模に蛇行した後、141° E 付近をS字状に北上した。

月後半の黒潮は、九州東岸から潮岬にかけて接岸した後、33° N 付近を東に流去した。その後、相模湾沖を南に流去し八丈島南東で蛇行して141° E 付近をS字状に北上した。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾では18~26℃台、駿河湾東部では21~28℃台、西部では21~27℃台で経過した。

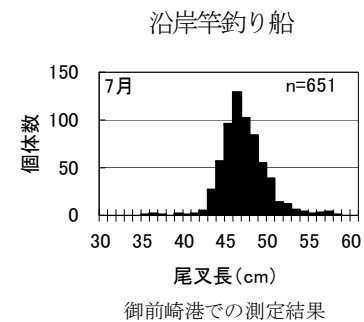
上旬は、相模湾で平年並みから低め、駿河湾では平年並み。中旬は、相模湾で平年並み、駿河湾でやや高め。下旬は、相模湾、駿河湾に27~28℃台の暖水が流入したことで、各地ともやや高めから高め。月を通じては平年並みからやや高めで推移した。

【竿釣近海カツオ】

7月の県内主要5港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海竿釣船によるカツオの水揚量はなかった。沿岸竿釣船はイナンバ、三宅、ハロースで漁獲し、尾叉長に46cmモードがあった。

竿釣近海カツオ水揚量（県内主要5港）

期間	水揚量 (ト)	水揚隻数	水揚/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
20年7月上旬	0	0	—	—
中旬	0	0	—	—
下旬	0	0	—	—
20年7月計	0	0	—	—
19年7月計	142	29	4.9	243
18年7月計	65	15	4.3	242



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	22.1	20.3	20.0	22.5	22.7	22.3	23.3
	0.1	-1.0	-1.6	-0.4	-0.2	-0.4	0.7
中旬	23.2	22.1	21.5	24.8	25.6	24.4	24.5
	0.2	0.4	-0.3	0.9	1.6	0.5	1.3
下旬	25.6	24.5	24.6	26.7	26.8	26.1	26.7
	1.3	1.8	1.6	1.8	2.0	1.3	1.8
月	23.7	22.4	22.0	24.7	25.2	24.3	25.0
	0.6	0.5	-0.1	0.8	1.2	0.5	1.3

【定置網】

平成20年7月、伊豆半島東岸大型定置網8か統（伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）の水揚量は386トンド、操業がなかった伊豆山、赤石を除く1漁場当たり水揚量64.4トンは前年30.8トン（7漁場）の209%、平年値（昭和57~平成19年）35.3トンの182%であった。

魚種別水揚量は、①さば類219.2トン（A：前年同月比253%、B：平年同月比232%）②マアジ62.1トン（A：285%、B：205%）③ワラサ16.4トン（A：1827%、B：618%）④シイラ12.8トン（A：80%、B：102%）⑤マイワシ12.4トン（A：231%、B：30%）の順であった。サバ類は川奈、北川、谷津を中心に入網し、ゴマサバが中心で、昭和57年以降で3番目に多く漁獲され、尾叉長のモードは32cmであった。マアジは谷津、赤沢、北川を中心に入網し、尾叉長のモードは13cm、21cmで、「小あじ」銘柄のモードが13cmの当歳魚が漁獲の約2/3を占めた。ワラサは赤沢、谷津、川奈を中心に入網し、昭和57年以降で3番目に多く漁獲され、尾叉長のモードは66cmと70cmにみられた。シイラは川奈、北川を中心に入網し、尾叉長のモードは67cmにみられた。

マイワシは、川奈を中心に入網し、被鱗体長のモードは11 cmと13 cmであった。

漁場別水揚量は、川奈118トン（サバ類、マイワシ、シイラ中心）、北川85トン（サバ類、マアジ中心）、谷津71トン（サバ類、マアジ、ワラサ中心）の順であった。

【サバたもすくい棒受網】

小川港には棒受網によって、ゴマサバ974トン（前年同月比239%）が水揚げされ、1隻あたり水揚量は34.8トン/隻（前年同月比196%）と好調であった。ゴマサバの平均単価は、72円/kg（前年同月61円/kg）と堅調であった。

漁場は三宅、三本、銭洲に形成された。漁獲されたゴマサバの魚体は、27～28cmモードの1歳魚（2007年級群）と思われる群を主体に、30～33cmモードの2～3歳魚（2005, 2006年級群）と思われる群が混じった。

小川港 サバ類（たもすくい、棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成20年 上旬	368	6	12	30.7	三宅、三本、銭洲
7月 中旬	142	2	4	35.6	三宅
下旬	463	6	12	38.6	三宅
計	974	14	28	34.8	-----
平成19年7月	408	10	23	17.8	中の瀬、大室出し、三宅
平成18年7月	663	11	24	27.6	三宅

* 水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

【シラス船曳網】

1日1か統当りの漁獲量は、駿河湾では74kg、遠州灘では245kgであった。主要6港平均では192kgであり、これは前年同期(261kg)の74%、平年同期（過去5か年平均：369kg）の52%と前年、平年を下回った。また、総水揚量は194.1トンで前年同期(442.3トン)の44%、平年同期（824.2トン）の24%と前年、平年を上回った。7月の総水揚量194.1トンは昭和60年以降最低であった。平均単価は716円/kgで、平年同期（697円/kg）とほぼ同じだった。

シラス水揚量（主要6港）

漁 港	水揚量 (ト)	延日 数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	20.1	10	90	230	692
舞 阪	103.0	10	339	304	663
福 田	38.4	9	183	210	690
御前崎	8.9	9	85	104	1,203
吉 田	3.9	10	115	34	1,446
静 岡	19.2	9	198	97	706
平成20年7月計	194.1		1,010	192	716
平成19年7月計	442.3		1,697	261	815
平成18年7月計	894.2		1,786	501	448

【まき網】

小川港ではマイワシの水揚げは18.4トンで平年同期（287.3トン）の6%であった。沼津港では、マイワシが3.3トンの水揚げで平年同期（523.8トン）の0.6%であった。カタクチイワシは5.4トンの水揚げで平年同期（11.1トン）の48%であった。静浦港ではマイワシは0.2トンの水揚げで平年同期（85.7トン）の0.2%であった。カタクチイワシの水揚げはなかった（平年同期：232.6トン）。伊東港ではマイワシの水揚げは22.0トンで平年同期（33.9トン）の60%であった。

注)平年同期:過去5か年(2003~2007年)平均

【調査船の動向】

富 士 丸	7月1日	～	7月23日	第3次航海(カツオ・ビンナガ調査)	(23日間)
駿 河 丸	7月2日	～	7月2日	地先定点観測	(1日間)
	7月7日	～	7月8日	地先定点観測	(2日間)
	7月9日	～	7月9日	深層水調査	(1日間)
	7月10日	～	7月11日	地先定点観測	(2日間)
	7月15日	～	7月18日	サクラエビ産卵調査	(4日間)
	7月16日	～	7月17日	湾内短期海況変動調査	(2日間)
	7月23日	～	7月24日	シラス調査(湾内他)	(2日間)
	7月28日	～	7月29日	マリンロボ1号調査	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

新着情報

・8～12月の県内海況等の予測がホームページにアップされました。

<http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/05wait/5-5-10/20080804.html>

・沿岸水温がホームページでも確認できるようになりました（平日のみ更新）。

<http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/01ocean/1-4-1.html>

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東東海海況速報を見ることができます。

